

案件概要書

2017年10月31日

1. 基本情報

- (1) 国名：フィリピン共和国
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名
マニラ
- (3) 案件名：フィリピン救助チームの能力向上に関する国際緊急援助隊・救助チームによるメンタリング（Mentoring support for capacity building of the Philippines Urban Search and Rescue Team by the Rescue Team of the Japan Disaster Relief Team）
- (4) 事業の要約：

本メンタリングは、フィリピン共和国（以下、「フィリピン」）救助チームが国際捜索・救助諮問グループ（INSARAG）の定める能力評価（INSARAG External Classification:IEC）を受検するにあたり、我が国国際緊急援助隊・救助チームがそのメンターとなり、フィリピン救助チームがINSARAGの定める国際基準を満たす国際派遣に足る能力を同チームが得るための評価作業を通じたメンタリングを行うものである。

2. 事業の背景と必要性

- (1) 本事業を実施する外交的意義

先般のメキシコにおける地震被害に対する国際緊急援助隊・救助チームの派遣に見られるとおり、我が国の国際緊急援助隊・救助チームは国際的に高く評価されており、捜索・救助技術のみならず、被災国や他支援国との調整に関しても、同チームが有する能力を活かし、他国救助チームの能力向上に資する協力を行うことが期待されている。今般、フィリピンは国際支援を念頭に置いた都市型捜索救助（USAR）チームを発足させ、我が国国際緊急援助隊・救助チームをメンターとして招聘し、INSARAG 加盟チームを受検することが推奨されている IEC を受検すべく、メンタリング要請が接到している。本メンタリングを通じ、同国の都市型捜索救助分野における能力向上に寄与することは、同国内における災害被害の低減に資することのみならず、同国との関係強化に資するものであり、我が国の外交上意義が大きい。

また、緊急援助の分野において多くの災害を経験している日本の技術・能力を活かして後続国の能力向上を支援することにより、二国間関係の強化のみならず、マルチの枠組みにおいても我が国が同分野を名実ともに牽引する存在であることをアピールでき、国際的なプレゼンスを向上させることにつながるため、外交的意義が大きい。

本メンタリングの対象国であるフィリピンは、地震、台風等自然災害の多発地域であり、同国の捜索救助能力の向上は一般国民に広く裨益することが期待される。さらに、我が国は ASEAN 各国で同様に自然災害への対応能力向上に取り組んでおり、本メンタリングは同国のみならず ASEAN 域内の災害対応能力向上に対する我

が国の支援の一環としても重要である。

(2) 背景

海外の地震等被害に対して国際派遣される救助チームについては、USAR 活動にかかる国際基準の設定や行動規範、国際チームの効果的な調整メカニズムや手法の確立を目的として 1991 年に INSARAG が設立され、国連人道問題調整事務所 (UNOCHA) に事務局を設けている。INSARAG は国際搜索救助チームの能力担保のためガイドラインを定め、右に従った能力評価を行っており、我が国の国際緊急援助隊・救助チームは、2010 年に最も高い能力を有するヘビーチームとして認定を受け、2015 年 3 月に再認定を受けた。当該能力評価を受けるためには、ガイドラインにおいて受検チーム所属国以外の個人又は USAR チームをメンターとして指名する必要があり、そのメンタリング期間は最低 2 年間と規定されている。

今般、フィリピンが発足させた国際支援を念頭に置いた都市型搜索救助 (USAR) チームはフィリピン市民防衛局 (Office of Civil Defense。以下、「OCD」) を一義的な先方調整窓口とし、搜索救助等を担当するフィリピン空軍 505 部隊、フィリピン陸軍 525 部隊に、NGO の Emergency Relief Unit Foundation(以下、「ERUF」) を加えた三者を構成メンバーと定めている。なお、OCD は国家災害リスク軽減管理評議会の事務局として同国における予防・軽減から緊急対応まで、幅広い活動の実施及び促進を役割としており、フィリピン軍は災害発生時の自国における搜索救助活動を所掌している。これらの主体は、任務の内容を踏まえれば、実質的には我が国警察、消防、海上保安庁等の文民組織と同様の国民保護業務を担う機関であると考えられる。

アジア地域において INSARAG のヘビーチーム認定を有する国は、日本、中国、韓国、シンガポール、マレーシア、豪州、NZ の 7 か国あるが、我が国は其中でも国際緊急援助隊派遣の豊富な経験を有しており、特にアジア太平洋地域内の USAR チームの搜索救助能力向上や、INSARAG ガイドラインに基づく国際調整業務に積極的に関与することが求められている。このような背景から、フィリピンからの我が国へのメンタリング要請が寄せられたものである。

(3) 都市型搜索救助活動支援に対する我が国の協力方針等と本事業の関連性

都市型搜索救助活動支援等の緊急援助を含む人道支援は、我が国の外交の柱である「人間の安全保障」の確保のための具体的な取り組みの 1 つとして実施されている。「我が国の人道支援方針」においても、自然災害発生時の緊急援助のみならず、平時からの取り組みとして、自らの知見及び教訓を国際社会と共有しつつ、国際的な防災の取り組みに経験していくことが定められている。

3. 事業概要

(1) 事業概要

① 事業の目的

本メンタリングは、フィリピン救助チームが国際捜索・救助諮問グループ（INSARAG）の定める能力評価（INSARAG External Classification:IEC）を受検するにあたり、我が国国際緊急援助隊・救助チームがそのメンターとなり、フィリピン救助チームがINSARAGの定める国際基準を満たす国際派遣に足る能力を同チームが得るための評価作業を通じたメンタリングを行うものである。

② 事業内容

国際緊急援助隊・救助チーム関係者の出張（最大年4回、各1週間程度）又はウェブ会議を通じて、INSARAG認定チームとしての経験に基づき、別添INSARAGガイドライン（下記URL）で定められている「能力評価チェックリスト」をフィリピン救助チームが満たすための評価作業を通じたメンタリングを行う。

③ 他のJICA事業との関係

JICAは「災害リスク軽減・管理能力向上プロジェクト（2012-2015年）」や長期専門家派遣（2012-2015年、2015-2017年）を通じて、OCDが中央防災機関としての他関連機関との調整や防災主流化の促進等を実施できるよう、組織及び人材強化の支援を実施している。

(2) 事業実施体制

① 事業実施機関／実施体制

（フィリピン側）OCD（フィリピン側フォーカルポイント及び救助チーム事務局）
フィリピン空軍505部隊（捜索、救助、医療、ロジスティックス）
フィリピン陸軍525部隊（捜索、救助、医療、ロジスティックス）
ERUF（NGO）（捜索、救助、医療、ロジスティックス）

（日本側）国際緊急援助隊・救助チーム（主メンター）

② 他機関との連携・役割分担

豪州ニューサウスウェールズ州消防救助隊が副メンターとして、INSARAGが定める救助チームに必要な5機能（捜索、救助、医療、ロジスティックス、マネジメント）のうち捜索、救助機能に対するメンタリングを担当する。

③ 運営／維持管理体制

国際緊急援助隊・救助チーム関係者が出張（最大年4回、各1週間程度）し、フィリピン側関係者との評価作業を通じたメンタリングを行うことが想定される。

以上

[参考] INSARAGガイドライン（能力評価チェックリスト）

<https://www.insarag.org/methodology/guidelines>